

たつの市コミュニティバスの再編について ～実証運行で継続路線を決定～

平成22年2月4日（木）開催のたつの市地域公共交通会議において、市内を運行しているコミュニティバス（以下、「コミバス」という。）の再編方針、基準等が協議され、平成22年4月～6月の間に再編実証運行（現状の運行）を実施し、乗降調査の結果で、下記の再編基準を下回る路線については、見直し（撤退）の対象とすることが決定されました。

《再編基準》

1 経過措置路線の基準について

【利用者数】 15.0人/運行日 以上

【収支率】 10% [運行収入/運行費用（車両減価償却費を除く）%]

2 バス停の見直し（南北連結路線「さくら」含む。）について

【乗降者数】 1.0人/運行日 以下のバス停は見直し対象

《再編スケジュール》

平成22年4月～6月（3ヶ月間）	再編実証運行 （現行のコミバス路線による運行）
平成22年7月～9月（3ヶ月間）	再編結果の周知・手続き （現行のコミバス路線による運行）
平成22年10月～	再編実施 （再編後のコミバス路線による運行）

《再編方針》

再編に向けては、次のことを措置及び検討します。

- 経過措置として利用者数・収支率が一定基準以下の路線は、再編実証運行調査を経て撤退する。
ただし、コミバスの廃止により、公共交通空白地とならないよう他の公共交通機関の状況や地域性を考慮して、最終的に再編路線を決定する。
- 市民に対して、コミバス事業の利用状況、収支状況等の説明及びコミバス事業が半永久的な事業でないことの周知・理解に努める。
- 路線バス事業の路線撤退（休止）の場合は、代替交通を確保する。
- 「地域の足は地域で考え守る」ことを目標とした市民主導型の地域交通の展開を目指す。
- コミバス利用者の大部分である高齢者に対しては、代替交通手段として、福祉施策の高齢者タクシー事業等の要件緩和を検討する。

将来的には本市のコミバスは、南北連結「さくら」を基幹交通として位置づけ増便し、その他の路線については、利用状況により随時見直し対象とします。

たつの市コミバス 運行欠損額(補助金額)の状況

(平成20年10月～平成21年9月)

運行収入
6,111千円

運行欠損額 (運行会社への補助金額)
66,423千円

運行費用 72,534千円

ルート別利用状況(平成20年10月～平成21年9月)と再編基準

